

小金井市はけの道町会 御中  
小金井市なかよん町会 御中  
小金井市前原1丁目町会 御中  
小金井市前原2丁目町会 御中

“武蔵野はらっぱ祭り”は、2003年11月まで通算17回武蔵野公園くじら山周辺で開催してきました。これもひとえに近隣住民の皆様のご理解、ご協力があったのことに感謝しております。

一昨年の祭りでは過去最高の数の人々が集い盛況な祭りになりましたが、その分近隣住民の皆様にはなにかとご迷惑をおかけ致しました。実行委員会としては今までの祭りを反省する機会として、昨年は祭りの開催を見合わせました。そして近隣住民の皆様からのより一層のご理解とご協力を得られるような祭りにするべくスタッフで話し合いを重ねてきました。

2005年8月4日に近隣4町会連名で小金井市教育委員会宛に出された「武蔵野公園における原っぱ祭の教育委員会後援不許可のお願い」の要望書は実行委員会として重く受けとめております。

しかしこの文書には多くの事実誤認がみられました。

誤解を与えたことは、私たちが町会の皆様との話し合いや交流の機会をあまり持たなかったことも一因かと思えます。

私たちは近隣の皆様と話し合う機会を求めております。

そのために実行委員会の考えをわかって頂く意味からも要望書に対する返答を以下にまとめました。少々長くなりますが、是非目を通して頂いた上、各町会会員の皆様にもご回覧下さいますよう切にお願い致します。

2005.10.31

武蔵野はらっぱ祭り実行委員会

## 「武蔵野公園における原っぱ祭の教育委員会後援不許可のお願い」 の文書に対して

2005年6月に近隣住民の皆様へご挨拶に伺った際、「第18回武蔵野はらっぱ祭り」は、今年の11月6日に1日間のみの開催を計画していました。一昨年の第17回の祭りの反省から多くの点で見直しや改善をはかり、また近隣住民の皆様のご理解を頂こうと、新しいスタッフを加えて実行委員会で毎週のように何度も話し合いを重ねている段階でした。開催を強行しようとしたものではありません。

### ●理由1.について

#### 「原っぱ祭実行委員会は、言行不一致で信用が出来ない。」

実行委員会のメンバーの過半は新しく入れ替わっており、毎週のように会議を開き、真剣に討議しています。特に新しく加わったメンバーにとってみれば、頭から言行不一致と決めつけられるのは、甚だ不本意に感じております。これまでの祭りや今後開催する祭りに対して、有用な意見を言って頂けると大変ありがたいと思っています。ぜひとも決めつけることなく、話し合いの場を持って頂けることを願っております。

尚、祭りの正式名称は「武蔵野はらっぱ祭り」です。「原っぱ祭」や「原っぱ祭実行委員会」という組織はありませんので、お間違いのないよう宜しくお願い申し上げます。

### ●理由2.について

#### 「武蔵野公園の自然破壊を目指している。」

何をもって「自然破壊を目指している」とされるのか理解に苦しみます。以前、武蔵野公園で撮影されたNHKの遺跡発掘ドラマのロケなどは、撮影後草も生えない状態です。これなどは私たちも「自然破壊」であると思います。しかし「武蔵野はらっぱ祭り」はそもそも、第三調節池としてはらっぱが今のままで無くなる計画に対する危機感をもって臨んでいました。はらっぱを大事に思い、いつまでもこのままのはらっぱであればいいなあ、という思いは、参加する誰もが強く思っていることです。

### ●理由3.について

#### 「公園は都民のためにあるもので一部の業者の占有は不当である。」

「一部の業者の占有」とはどの部分を指しているのでしょうか。祭りには多くのリサイクルバザー出品者や出店者が参加しています。リサイクルバザーではほとんどが近隣住民の参加であり、出店者も多くが一般市民やグループです。また出店は、申し込みを受け付けた実行委員会が場所を指定し、参加の許可を与えているものです。

実行委員会は、小金井市や近隣の市に住む有志の市民から成り立っており、皆ボランティアで関わっています。イベント業者などは関わっておりません。また、実行委員会は公園管理事務所と河川敷管理事務所から正式な占有許可を受けて開催しています。決して業者の占有にはあたらないと思います。

●理由4-9が欠落しているようにも感じますが、欠落しているのであればお教え下さい。

●理由10.について

「目的が明確でなく、従来の状況は、全国を渡り歩く住所不定の業者の営業が主体で、イベントはそのための人集めである。」

「目的が明確でなく」とありますが、祭りの企画書にも記載した以下が目的です。

「武蔵野はらっぱ祭りは、都内では数少ない貴重な“はらっぱ”、武蔵野公園・くじらやま周辺が持つ価値を多くの人々と共有し、世代を超えた人々の出会いや多彩な表現を通じて、個性を尊重し豊かな人生を分かち合えるような文化とそれを担う人々の絆を深める“場”とすることを目的としてきました。」

「全国を渡り歩く住所不定の業者の営業が主体」との見方には根拠がありません。出店者の氏名、住所、電話番号は全て申し込みの際に把握しており、住所不定の業者の出店を認めたことはありません。出店の多くは非営利団体です。

●理由11.について

「業者のテント張りの寝泊りで、公園内を所嫌わず糞尿をするため臭気が漂い、付近住民や散歩の人が迷惑した。其の上、夜遅くまで騒音を発生させ付近住民の安眠を阻害された。」

テントは出店の夜間の管理のために許可したものです。

「所嫌わず糞尿をするため臭気が漂い」の部分は、確かに祭り参加者の一部が公園内で用を足した事実があり、近隣住民や公園を利用する一般市民の方々にご迷惑をかけたことはお詫びします。しかし「所嫌わず～臭気が漂い」というような事態はなかったと認識しています。仮設トイレの設置も検討してきましたが、参加者のマナー向上をまずは促していきたいと考えています。

また、無許可テントや夜間の騒音問題もあったため、計画していた今年の祭りでは開催を1日に短縮することで、宿泊規制やマナーの徹底を考えていました。また、従来三箇所にあったステージを一つに絞り、終了時間の徹底をはかることで、大きな音に対する対策とし、心地よい一日が過ごせるようにと考えています。

●中止理由の根拠1.について

「自然を大切にすとい云いながら平成15年11月18日の朝日新聞にくじら山広場に『新宿西口広場を作りたい』など自然破壊を目指しており、ゴミを散らかし、騒音を撒き散らし、麻薬の普及など教育委員会に提出した趣旨と全く正反対の行為をしている。」

2003年11月18日付の朝日新聞の記事は実行委員会のメンバーである個人についての記事です。また当人の校正・了承もなく朝日新聞記者によって書かれた文章であり、当人や実行委員会が責任を負うべきものではないと考えています。記事の取材を受けた当人に確認したところ、彼が伝えたかったのは、人々が集い、コミュニケーションし、互いを理解しあう機会になる『広場』をつくりたい、という希望であったということです。「新宿駅西口広場のような場所をつくりたかったんです」との文面から、自然破壊を目指す団体であると決めつけられるのは、甚だ遺憾に感じております。

ゴミはできるだけ少なくなるように心掛けておりますし、常に改善の提案を検討しています。実際、他の場所で開催される祭りにくらべるとゴミの量が大変に少ないことは事実です。今後もさらなる減量をこころがけていきたいと考えています。

また、麻薬の普及などは決して行っておりません。

●中止理由の根拠2.について

「禁止されている『大麻』の自由化の宣伝をし、不法販売の疑いもあった。」

「大麻自由化運動」のアピールを掲げた団体の出店があったことは事実ですが、実行委員会が大麻自由化運動をおこなっているわけではありません。この団体の参加主旨は人権擁護が主題であり、今まで東京都や環境省後援の環境保護イベントに数多く参加してきた実績から参加を認めてきたものです。ただ「大麻自由化運動」の主張をアピールした幟が近隣住民へ不快感や誤解を与え、苦情が寄せられたため、実行委員会では幟を降ろすようお願いしましたが、聞き入れてくれなかったという事実があります。実行委員会では、表現の自由を制限するようなことはしたくないと考えていますが、様々な議論もあったため、次回の祭りへの出店は見合わせるよう、当該団体とは話しています。大麻の不法販売などは決してありません。

●中止理由の根拠3.について

「テントに寝泊りした一部の女性が無断で南小学校のトイレを使用し安全面で問題があった。」

そのような事実はまったく把握しておりませんでした。もし事実であるなら、その場で注意して頂ければと思います。実行委員会としても祭り参加者へトイレの使用マナーについては引き続き呼びかけていきます。

● 中止理由の根拠4.について

「夜中は無法地帯になりナンパ行為などが目撃されており、青少年に有害である。」

騒音でご迷惑をおかけした事実はありますので、夜間の騒音については極力静かにするよう、引き続き呼びかけていきます。しかし夜中であっても当祭りが無法地帯であるという事実はありません。またナンパ行為を推奨しませんが、無法にはあたらないと考えます。

● 中止理由の根拠5.について

「排出されたゴミの処理が不適切であった。(ゴミ処理は持ちかえりが原則であるのに、片付けず市民の税金で処理され、1日経ってもまだゴミがあるので注意したが処理しなかった。)」

祭りの参加者にはゴミの持ち帰りを原則とし、実行委員会でゴミの片付けもできる限りおこなっています。なかなかゴミゼロとまではいきませんが、今後も極力、ゴミを減量するよう取り組んでいきたいと思っています。

参考写真にある「片付けたあと、落ちていたゴミ」については、すでに小金井市清掃局に回収を頼んであるもので、清掃局指定の場所に置いたものであり、未回収で取り残されたゴミではありません。実行委員会でブルーシートをかけた「11月5日回収予定」「市役所回収連絡済み」「はらっぱ祭り実行委員会」「ご迷惑をおかけして申し訳ありません」という四角紙が貼られてあります。

ゴミの処理については、祭りなど大きな催しで出されるゴミについては、市の回収があるというのは、どこの祭りでも同じであり、特に不当なことにはあたらないと思います。毎回、会場内外に落ちているゴミの回収に一日かけて取り組んでいます。分別もかなり厳密に行っているため、処理が不適切という指摘はあたらないと考えています。

写真にある「道に放置されたゴミ」は、公園管理事務所からの連絡を受けて片付けています。会場の外にあったゴミですが、祭り以前にあったものと推測されるものも含めて処理をしています。

その他要望書の添付資料にある写真について

「大道商人達の店」とあるのは全くの誤りです。主婦によるリサイクルや家庭の食べ物の模擬店、農業従事者による有機農産物や手作り草木染衣類の模擬店などです。

● 中止理由の根拠6.について

「朝のラジオ体操の実施が阻害された。」

ラジオ体操をしている方々に文句を言った参加者がいたことを後で知りましたが、阻害まではしていないということでした。実行委員会としては後日、「武蔵野公園ラジオ体操の会」には謝罪に出向いています。

今後はそのようなことが無いようにしたいと思います。ラジオ体操をおこなっている方々へはご迷惑をおかけ致しました。

これからの「武蔵野はらっぱ祭り」は今までの反省にたって、近隣住民の皆様からご理解とご協力をより一層得られるような祭りを目指し、多くの新しいスタッフも加え話し合いを重ねています。

その一環として6月に第18回の祭りの企画書を持参し、近隣住民の皆様を訪ね話しをさせて頂きました。その中には祭りに対して厳しい意見も頂戴しましたが、祭りに対して理解を示して下さる方がいたことも事実です。「毎年祭りを楽しみに参加していました。」「これからも続けて下さい。」との激励の声は本当に有り難いことです。

実行委員会として、近隣住民の方々と話せる機会を作ろうと思っていた矢先に、教育委員会宛に出された要望書には、数多くの事実誤認が見られました。憶測や推測で判断されましたことは誠に残念に思います。

武蔵野はらっぱ祭り実行委員会は近隣の皆様と話し合う機会を是非求めたいと思っております。

今後とも連絡をさせて頂く機会があると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

## 武蔵野はらっぱ祭り実行委員会

こうがしゃ

TEL: 042-323-8753 (恒河舎 気付)

代表	：塩原 安従里	府中市浅間町在住
渉外担当	：水由 章	小金井市前原町在住
	原島 康晴	小金井市本町在住
	片山 薫	小金井市前原町在住
	渡辺 理	国分寺市西恋ヶ窪在住